

シンポジウム「子どもたちに生活科学を ―家庭科の魅力と可能性―」

1. 主 催 日本学術会議 健康・生活科学委員会 生活科学分科会
2. 共 催 生活科学系コンソーシアム
3. 日 時 平成20年7月5日(土) 13:00～17:00
4. 会 場 日本学術会議 講堂(港区六本木7-22-34)
※地下鉄千代田線「乃木坂」青山霊園方面出口 徒歩1分

5. 次 第
(開催趣旨)

生活科学は、人間生活における人と環境との相互作用について、人的・物的両面から研究し、生活の質の向上と人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。

家庭科の学習内容の学術的基盤となる生活科学には、現代社会の変化を踏まえて、その最先端の内容を、確実に家庭科に反映することが要請させている。

本シンポジウムでは、子どもの発達に応じた家庭科として、生活科学の内容を、どのように編成すれば、子どもたちの生きる力を育成できるか、生活科学諸関連学会の叡智を結集して、家庭科の魅力と可能性について考えたい。

(プログラム)

コーディネーター

渋川 祥子(日本学術会議 生活科学分科会幹事)

御船美智子(日本学術会議 生活科学分科会委員)

(1) 開会挨拶・趣旨説明 13:00～13:15

片山 倫子(日本学術会議 生活科学分科会委員長)

(2) 基調講演 13:15～13:45

望月 昌代(文部科学省 教科課程調査官)

(3) 報告 13:45～16:55

① 「家庭生活と家族」 13:45～14:15

荒井 紀子 (福井大学教授)

② 「食生活」 14:15～14:45

石井 克枝 (千葉大学教授)

③ 「衣生活」 14:45～15:15

高部 啓子 (実践女子大学教授)

④ 「消費生活」 15:15～15:45

西村 隆男 (横浜国立大学教授)

(4) 討論 15:55～16:55

(5) 閉会挨拶 16:55～17:00

6. その他

事前の申し込みは必要ありません。定員300名で先着順です。

受付は、当日12時30分頃からを予定しております。

